

1. 目的

ゼミで海保青陵の論民談を読み、興味を持ったためまとめた。

2. 概要

海保青陵は論民談で江戸時代の金銭の流れについて述べた。その流れをまとめ、それを通して私が感じたことや考えたことについてまとめた。

3. 要約

海保青陵は幕府たちは法を立てるほどの力量がないため町人から金を借りて一時逃れをし、金を借りる代わりに町人に格式を与えているとし、これは考えの足らぬ策で町人が高い地位にいると金は流れ出る道理であるとした。京都は上品を好み、江戸は懶惰であるため、財産を増やすことができない。それに対して大阪は人柄をかえりみずに働き、財産を増やすため富人となることができるという話を何某という富豪から聞く。